

2025年度 自己評価総括表

ぽかぽかステップ大和田教室

○事業所名	ぽかぽかステップ大和田教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年2月15日		～ 2026年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2026年2月15日		～ 2026年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月1日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プレイルームや個別の支援室など、子どもの状況に応じて支援の環境を使い分けができる。	子どもの月齢や学年齢、また発達状況に合わせて環境設定・環境調整に心がけた上で支援を行っている。	子どもの発達に合わせた支援が一貫できるように職員間の共有化を充実させていく。
2	太田ステージや安田式体育遊び、アナログゲーム等を取り入れながら療育支援を行っている。	組織全体で共有化されているプログラムを取り入れる工夫や個別支援の中でも集団化できる場合には小集団化して支援にあたっている。	職員個々の療育スキルがさらに高まるように情報の共有化やプログラムの充実を図っていく。
3	提供した支援内容をできる限りその日の内に、子どもの取り組みの画像等を含めてわかりやすくお知らせしている（サービス提供記録の提供）。また、SNSを通じて支援内容等を広く公開している。	支援目的や支援教材など、できるだけ細かく提供内容をお知らせしている。また、支援内容等をSNSを通して都度更新して公開している。	取り組んだ内容（事実）の記載とともに、取り組みの結果による子どもの変化や継続的に取り組むべき療育課題等の共通認識が持てるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の運営や子ども一人ひとりの支援について職員間で共有する機会が少ない。	出勤時間が時間差であったり、支援が早い時間から開始となるため全体で集まれる機会が作りにくい。	シフト表上で職員会議ができる日を設定したり、少しの時間であっても情報共有できる時間帯を作るようにしていく。
2	保護者の方に来ていただき直接療育の様子を見ていただく機会が少ない。	現場の体制などにより、保護者の方に療育支援の内容を見ていただく機会が得られにくくなっている。	年間計画の中で、そのような機会を作ることができるように見通しを持った計画を立てていく。
3	非常災害時や安全管理に関する取り組みや保護者に対する情報発信が十分行われていない。	日常的な安全管理が不十分であり、また非常時における訓練なども十分行われていない。	年間計画の中で、見通しを持った計画を立てて、保護者に対しても情報発信の機会を作っていく。